

ヒラメの産卵期と着底期の変動

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 水産総合研究センター
	公開日: 2024-11-28
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 栗田, 豊
URL	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012410

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



ヒラメの産卵期と着底期の変動

海区水産業研究部

協力機関：福島県水産試験場

研究の背景・目的

1. ヒラメ資源の維持・管理に、翌年・翌々年の漁獲量に影響すると考えられる、稚魚の着底数が決定する仕組みの解明が極めて重要
2. 過去のデータからヒラメの着底数が非常に多い年は、8月の水温が高い傾向
3. 仙台湾付近の産卵期と着底時期の年変動の解明

研究成果

1. 着底時期には年変動が認められ、2001年は6、7月、2002年は7、8月、2003年は8、9月が着底時期
2. 2003年の産卵期は例年より1ヶ月程遅い5～8月(盛期は6、7月)
3. 2003年に着底したヒラメは7月以降に生まれた魚であると推定

今後の研究の展開

1. 産卵と着底のデータを蓄積し、着底数が決定する仕組みを解明
2. 耳石を解析して浮遊期の魚および着底した魚の誕生日を調べる。この結果を産卵数の産卵期中の変化の様子と比較して、生まれてから着底するまでの生残の仕組みを解明

2003年の仙台湾～常磐
海域におけるヒラメの産卵
時期と着底時期の関係

